

2019年度 事業報告

1. 2019年の会員状況

会員事業所 234ヶ所 準会員 8名

2. 役員会、企画委員会の開催状況について

役員会 毎月1回開催（5月臨時役員会開催） 計13回

企画委員会 概ね2ヶ月に1回開催（6.8.11.2.5月開催） 計5回

3. ステーション便りについて

年2回発行： 2019年11月「秋号」（49号） 2020年5月「春号」（50号）

4. 2019年度講演会及び研修会・交流会の開催状況

| | |
|------------|--|
| 2019.06.22 | 特別講演会 （場所：札幌） テーマ：「熊本地震から学ぶ」 ～SOSを発信できる訪問看護ステーションと支える組織へ～ 講師：木村 浩美 氏（熊本県訪問看護ステーション連絡協議会 会長） |
| 2019.06.01 | 道北地域研修会 （場所：旭川） テーマ：「これでいいのだ！精神疾患の方への支援」 ～事例をとおして、具体的な支援方法を共有し解決の糸口を見つける～ 講師：萱間 真美 氏（聖路加国際大学 精神看護学教室 教授） |
| 2019.08.17 | 道北地域研修会 （場所：旭川） テーマ：「床ずれの予防と理解」～こんなに簡単！床ずれ予防～ 講師：堀田 由浩 氏（日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 理事） |
| 2019.08.27 | 道南地域研修会 （場所：函館） テーマ：「小児在宅医療と医療的ケア児の支援」 講師：土畠 智幸 氏（医療法人稲生会 理事長） |
| 2019.08.31 | 日胆地域研修会 （場所：苫小牧） テーマ：「やってみよう！訪問看護ステーション事業所評価」 講師：今野 好江 氏（訪問看護ステーション禎心会東） |
| 2019.10.04 | 道東地域研修会 （場所：網走） テーマ：「認知症の基礎理解と認知症の方とのコミュニケーション」 講師：川合 理恵 氏（JA北海道厚生連網走厚生病院 認知症看護認定看護師） |
| 2019.11.08 | 道東地域研修会 （場所：釧路） テーマ：「事例検討会」（3ヶ所の事業所から発表） |
| 2019.12.13 | 道東地区研修会 （場所：北見） テーマ：「ナラティブ ものがたり診療所の活動」 講師：五十嵐 衣つ華 氏（オホーツク北見勤医協病院） |
| 2020.01.25 | 道東地区研修会 （場所：帯広） テーマ：「在宅におけるがん患者と家族の緩和ケア・終末期ケア」 講師：濱田 香純 氏（がん看護専門看護師） |

5. 第16回 北海道・東北地区訪問看護ステーション連絡協議会 合同研修・交流会

テーマ：「地域共生社会」～生まれた時から最期まで、お家で生活できる地域を目指して～

講師：永森 克志 氏（ささえる医療研究所 理事長）

・まるごとケアの家からみた地域共生社会とは

一木 崇宏 氏（ホサナファミリークリニック理事長）

・都会での地域共生社会についての取り組み

金谷 潤子 氏（札幌麻酔クリニック副院長）

・在宅医からみた地域共生社会とは

6. その他

1) 対外活動

- 全国訪問看護事業協会総会
- 北海道看護協会看護師職能委員
- 家庭看護基盤整備事業報告会
- 北海道薬事審議委員会委員派遣
- 北海道東北地区合同研修交流会参加
- 日本訪問看護振興財団
- 訪問看護普及キャンペーン協力
- 市民のためのがんフォーラム後援
- 在宅医療推進フォーラム共催
- 北海道医療ソーシャルワーク学会後援
- 道看護協会在宅ケア推進委員会委員派遣
- 高齢者終末期医療を考える会世話人派遣・協力
- 市民のためのがんフォーラム後援
- 全道地域ケアサービス連携推進検討会議参加
- 診療報酬改定研修会（日本医師会館）質問・意見提出
- 日本看護協会訪問看護ステーション各都道府県代表者会議
- 日本訪問看護振興財団主催訪問看護普及啓発会議参加

《総括》

今年度、年明けからは COVIT-19 の影響で、予定されていた研修が自粛となった。

また、各地域で訪問看護事業を継続するのが精一杯な中で、連絡協議会としては、道内各地域の情報や意見の収集をし、北海道看護協会との情報共有、道との交渉、日本看護協会・日本訪問看護財団・全国訪問看護事業協会の3団体を通じて、北海道の状況を行政に発信した。

今後も収束には長期化が予測されるなか、オンラインによる協議体制を整え、休止することなく連絡協議会の活動が継続できるよう、柔軟に工夫していきたい。

2019 年度企画委員活動報告

1. 企画委員会開催

| 企画委員会 | 開催日 | 開催場所 |
|-------|--------------|-------------------------|
| 第1回 | 令和元年6月22日(土) | 総会後 |
| 第2回 | 令和元年8月16日(金) | |
| 第3回 | 令和元年9月22日(日) | 北海道東北地区訪看 ST 連協合同研修交流会後 |
| 第4回 | 令和元年11月8日(金) | |
| 第5回 | 令和2年2月14日(金) | ZOOM ミーティング |
| 第6回 | 令和2年5月15日(金) | ZOOM ミーティング |

2. 地区活動

【道南地区】

テーマ： 「小児在宅医療と医療的ケア児の支援」
講師： 土畠 智幸 氏（医療法人稲生会 理事長）
日時： 令和元年8月27日(火)
場所： 西堀病院 東治ホール
参加者： 30名

【道東・帯広地区】

テーマ： 「在宅におけるがん患者と家族の緩和ケア・終末期ケア」
講師： 濱田 香純 氏（がん看護専門看護師）
日時： 令和2年1月25日(土)
場所： 公益財団法人北海道医療団 第一病院会議室
参加者： 31名

【道東・釧路地区】

テーマ： 事例検討会・グループワーク（3ヶ所の事業所から発表）
日時： 令和元年11月8日(金) 18時～
場所： 釧路考仁会記念病院
参加者： 76名

【道東・網走地区】

テーマ： 「認知症の基礎知識と認知症の方とのコミュニケーション」
講師： 川合 理恵 氏（JA 北海道厚生連網走厚生病院 認知症看護認定看護師）
日時： 令和元年10月4日(金)
場所： 網走厚生病院 3階 講堂
参加者： 23名

【道東・北見地区】

テーマ： 「ナラティブ ものがたり診療所の活動」
講師： 五十嵐 衣つ華 氏（オホーツク北見勤医協病院）
日時： 令和元年12月13日(金) 18時30分
場所： オホーツク北見勤医協病院内
参加者： 27名

【道央・小樽地区】

テーマ： 「おたる地域包括ビジョンの取り組みについて」
講師： 岩永 輝明 氏（札幌すがた病院 リハビリテーション課 課長）
日時： 令和2年1月17日（金） 19時～20時15分
参加者： 15名

【道北・旭川地区】

テーマ： 「精神科訪問看護の実際」
～精神科訪問看護の実践について、会員の事例を通して学ぶ
講師： 萱間 真美 氏（聖路加国際大学 精神看護学教室教授）
日時： 令和元年6月1日（土）
場所： 旭川市障害者福祉センターおびった
参加者： 38名

テーマ： 「床ずれの予防と理解」～こんなに簡単！床ずれ予防～
講師： 堀田 由浩 氏（日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 理事）
日時： 令和元年8月17日（土）
場所： 旭川市民文化会館 小ホール
参加者： 83名

【日胆地区】

テーマ： やってみよう！訪問看護ステーション事業所評価
講師： 今野 好江 氏（訪問看護ステーション禎心会東）
日時： 令和元年8月31日（土）
場所： 苫小牧市市民活動センター
参加者： 31名

【日胆・西胆振】

テーマ： 「訪問看護における摂食・嚥下障害看護」
講師： 岩本 高始 氏（市立室蘭総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師）
日時： 令和元年9月28日（土）
場所： 胆振地方男女平等参画センター・ミンクール
参加者： 23名

3. 地区活動の課題

〈地区委員より〉

- ① 新型コロナウイルス感染の状況の中で地区活動をどのように行っていくか？連携が必要な時に訪問看護事業所同士での情報共有の方法などが課題。（参画の積極性に事業所格差がある）
- ② 地区役員として他ステーション状況の把握がしにくい、他ステーション所長との交流が必要だと思う。道協議会役員の方との交流がもっとあった方が良かった。
- ③ 人員の不足や予算の都合にて、札幌などの都市部の研修を受けることが難しいとの話が多く聞かれます。受けたい、受けさせたい研修は札幌での開催で移動や宿泊に時間がとられ、業務に支障が出るため難しい状況。
- ④ 北見地域の地区連絡員より「紋別が地区連絡員の範囲ですが、研修を開催した場合交通機関がありません。紋別は旭川の方がアクセスが良く地区割の検討が必要ではないか。

〈企画委員より〉

- 道東地域は交通のアクセスも悪く、地域のステーションがとても遠くにあり、交流が難しい地域であるが、多職種と意図的に研修企画をしたり、顔の見える関係づくりに尽力してくれていた様子があった。大規模な研修は札幌での開催が多くなりがちだが、それぞれの地域で開催できるように、地区活動費（研修費の負担）を増額できると講師依頼もしやすいと思われる。
- 各地域の研修報告やステーション状況・困っていることなど会議前に共有できるシステムを協議していく。

研修報告等の運用書式の共有を分かりやすく整理する。道央地区では、企画委員の役割を明確にし、活動しやすい具体案を協議していく。